

対象機器：家庭用冷蔵庫、冷蔵ショーケース、アイスクリーム機器、製氷機、電動圧縮機、業務用冷凍冷蔵機器など

■背景及び課題

- ・日本の先行的技術である、間接冷却技術、インバータなどの安全性が、適切に評価される規格にする必要がある。
- ・安全と直接関係せず、機器の利便性を損なう規定である。

■活動方針

1. 地球環境保護の観点から新冷媒の採用が加速。
新冷媒での安全性を確保する。
2. IEC規格に間接冷却式冷蔵庫を考慮した安全性規定を採用する。



◆ 電気冷凍・冷蔵庫の一例(東芝殿Webより)

■成果

1. デリー会議で賛同を得た庫内の電気品保護の安全性を確認する水こぼし試験は、FDISが承認された。
2. 入力測定方法についてインバータ方式の特徴をとらえた提案を行った。国際会議で、継続的に検討推進中。

■今後の予定

1. 日本が得意とする技術(インバータ圧縮機、間接冷却式冷蔵庫)を規格に反映させる。
2. 入力測定方法の考えられるパラメータを検討し、技術的根拠の明確化提案など、国際会議の議論に参加し、受け入れる内容に導く。